

令和5年度  
普及指導年度計画

令和5年4月

柏崎農業普及指導センター  
(柏崎地域振興局農業振興部)

# 目 次

第1	推進方針（総論）	
1	柏崎・刈羽地域の農業ビジョン	1
2	令和5年度推進方針	2
第2	課題別活動方針と指導計画	
1	農業を担う人材の確保・育成	
(1)	新規就農者の確保・育成	3
(2)	受入体制構築の推進	3
(3)	多様な人材が活躍できる経営体の育成	4
2	担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開	
(1)	農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	4
(2)	新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化	5
(3)	新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践	6
(4)	収益性の高い畜産経営の育成	7
(5)	経営の多角化	7
(6)	スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の 技術革新・生産基盤の強化	7
3	中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	
(1)	地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	8
第3	重点課題	
1	全県共通課題	9
第4	課題体系及び指導対象	13
第5	活動体制及び業務分担表	
1	組織及び活動体制	14
2	業務分担表	15
第6	普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表	16
第7	新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表	16
第8	普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる主要 実証ほ一覧表	16

# 第1 推進方針（総論）

## 1 柏崎・刈羽地域の農業ビジョン

～意欲ある農業者が所得確保できる持続的な農業の発展～

農業従事者の減少、高齢化等により人手不足や農業生産力の低下が懸念される状況において、農業の担い手が柏崎・刈羽地域で暮らし稼げる農業の実現を目指す。

そのため、次代を担う人材の確保・育成に向け、新規就農者の確保・定着とともに、関係機関等と連携し地域の受入体制の構築に向けた取組を推進する。

また、ほ場整備等を契機とした農地の集約化による営農の効率化や、担い手を中心とした安定的な農業構造の確立により経営基盤を強化し、需要に応じた米生産の推進、園芸産地の育成や飼料用作物の生産に取り組み、水田フル活用等による農業経営の安定化を目指す。

さらに、生産条件の厳しい中山間地域等では、持続可能な営農や集落機能の維持発展に向けた将来プランの策定及び実践を支援する。

### 【推進課題】

#### 【農業を担う人材の確保・育成】

- 新規就農者の確保

#### 【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開】

- 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築
- 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化
- 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践
- 耕畜連携による水田飼料作物の生産・利用の推進

#### 【中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮】

- 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

### 【柏崎・刈羽地域の農業振興に係る主要目標】

目標項目	基準年 (令和2年度)	年度目標 (令和5年度)	最終目標 (令和6年度)
〔農業を担う人材の確保・育成〕 ○新規就農・就業者数	10人/年	15人/年	15人/年
〔担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開〕 ○地域計画策定数	-	4地区	全地区
○コシヒカリ1等級比率	38%	90%以上	90%以上
○葉月みのり1等級比率	98%	90%以上	90%以上
○飼料用米の単収	基準単収 +46kg/10a	基準単収 +150kg/10a以上	基準単収 +150kg/10a以上
○1億円を目指す園芸産地の販売額 (4産地)	172,006千円	271,710千円	500,000千円
○WCS用稲の生産拡大	0ha	19ha	23ha
〔中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮〕 ○将来プラン策定・実践地区数	-	3地区	4地区

2 令和5年度推進方針

「農業を担う人材の確保・育成」「担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開」及び「中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮」の3つの基本課題に基づき普及活動を展開する。特に、次の3課題を重点課題として設定し、担い手と地域に着目した普及指導活動を効率的効果的に進める。

重点課題	<p>◎園芸の販売額1億円産地を育成するための取組実践～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～〔えだまめ、たまねぎ、少量多品目、かき〕（※少量多品目：カリフラワー、ブロッコリー、アスパラガス、越後姫、さといも、にんじん、キャベツ、JA直売所「愛菜館」）</p> <p>◎中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり〔現状分析：柏崎市高柳地区、将来プラン策定：柏崎市別保地区、将来プラン実践：柏崎市南鯖石地区、柏崎市曾地区〕</p> <p>◎担い手を中心とした安定的な農業構造の確立〔農地集約化合意形成：柏崎市中通地区、法人等中心経営体の連携体制：柏崎市南鯖石地区〕</p>
------	--

農業を担う人材の確保・育成	<p>(1)新規就農者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就農候補者及び就業希望者等の就業に向けた課題解決</li> <li>○就業段階に応じたスキルアップによる次世代の経営者育成</li> <li>○4Hクラブ活動とおとした仲間作りや地域リーダーの育成</li> </ul> <p>(2)受入体制構築の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関が一体となった農業人材確保・育成に向けた受入体制の構築</li> </ul> <p>(3)多様な人材が活躍できる経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業経営体の発展に向けた農福連携の取組推進</li> </ul>
---------------	---

担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開	<p>(1)農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎将来の農用地利用の姿を描く「地域計画」(案)策定及び法人等担い手の連携による効率的生産体制の構築</li> </ul> <p>(2)新潟米基本戦略の基づく水田所得の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○異常気象に対応した技術対策の徹底による高品質安定生産</li> <li>○「葉月みのり」の高品質安定生産</li> <li>○主食用米並の所得確保に向けた飼料用米や大豆の生産性向上</li> </ul> <p>(3)新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎産地担い手の確保、産地技術の確立や作業受委託体制の推進による生産性向上、及び販売・ブランド力の強化</li> </ul> <p>(4)収益性の高い畜産経営の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○耕畜連携による水田飼料作物の生産利用体制づくり</li> </ul> <p>(5)経営の多角化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○外部専門家と連携した農業法人等の収益性向上</li> </ul> <p>(6)スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スマート農業の面的拡大による水稲・大豆作業の効率化</li> <li>○GAPの実践による農産物の安全性及び信頼性の確保と就業環境の改善</li> </ul>
------------------------	---

中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	<p>(1)地域農業の維持・振興に関する合意形成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域住民の主体的参画による地域活動に向けた推進体制の構築</li> <li>◎営農継続・集落機能の維持に向けた将来プランの策定</li> <li>◎地域主体の将来プランの実践</li> </ul>
------------------------	---

◎：重点課題項目

## 第2 課題別活動方針と指導計画

### 1 農業を担う人材の確保・育成

#### (1) 新規就農者の確保・育成

- 関係機関・団体と連携し就農情報提供や就農相談活動を行い、新規就農者、新規参入者、法人等就業者等の新たな担い手を確保する。
- 青年等就農計画のフォローアップや、ニュー農業塾、新規就農者交流会等により、新規就農・就業者等の生産及び経営管理技術の向上を図り、定着を支援する。
- 4Hクラブへの活動支援を通じて若手農業者の仲間作りや女性クラブ員の参加を進め、地域リーダーの育成や社会参画につながる活動を支援する。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 新規就農者の 確保	(7) 就農啓発及び就農・就業相談活動の実施	新規就農者候補者リスト掲載者、新規就農・就業意向者	新規就農者・就業者数	15 (12)	石井	市町村等へ調査
イ 次世代の経営者育成	(7) 新規就農・就業者の生産及び経営管理技術向上	認定新規就農者(3人)、新規就農・就業者	前年より農産物売上高が向上した認定就農者数	3 (2)	石井	対象者への聞き取り
			ニュー農業塾修了者数	5 (2)		
	(4) 4Hクラブの活動支援	Yes 農クラブ	プロジェクト活動実施数	1 (1)	佐藤	対象者への聞き取り
			新規会員数	2 (1)		

#### (2) 受入体制構築の推進

- 就農相談から就農に至るまで一連で支援できる受入体制の構築に向け、受け入れ経営体の情報や課題を整理し、受け入れ先を確保する。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 新たな担い手確保と受け入れ体制づくり	(7) 意向把握や受け入れ体制づくり支援	柏崎地域指導農業士会 柏崎専農経営者会議	農業者を交えた推進体制の構築	1 (0)	石井	対象者への聞き取り
			受け入れ経営体の確保	10 (0)		

(3) 多様な人材が活躍できる経営体の育成

- 地域における農福連携（施設外就労）を試行する農業経営体を支援し、経営発展や社会貢献活動に向け農福連携の取組を推進する。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 農福連携の 推進	(7) 受入経営体と 福祉事業所と のマッチング	雇用意向のある 経営体	新規農福連携経 営体数	4 (4)	小淵	対象者へ の聞き取 り

2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開

(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築

- 地域計画の策定に向けた地域の話し合いや合意形成支援を進めるとともに、効率的な生産体制構築に向けた法人等の担い手間の組織的連携に向けた話し合い活動を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 地域計画策 定に向けた 話し合い・合 意形成支援	(7) 農地の集約化 に向けた担い 手間の合意形 成支援	柏崎市中通地 区	地域計画素案作 成数	1 (0)	石本	対象者へ の聞き取 り
	(1) 法人等担い手 の連携体制づ くり	柏崎市南鯖石 地区	法人間連携計画 の策定数	1 (0)	田中	対象者へ の聞き取 り

(2) 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化

- 肥培管理や病害虫・雑草管理の不徹底により、水稻の単収や品質が低下しているため、関係機関等と連携し、適切な栽培指導を行うとともに、情報発信体制を強化して、高品質安定生産を図る。
- 葉月みのりの環境負荷軽減の取組の中で、早期出荷に向けた生育量の確保及び適期収穫、異常高温への対応による高品質安定生産を図るための栽培指導を行う。
- 主食用米並の所得確保に向け、飼料用米の多収穫生産を実現する。
- 大豆の高品質安定生産のための栽培指導を行う。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 新潟米ブランド力の維持・強化	(ア)主食用米等の高品質安定生産	水稻重点指導対象 (水稻調査ほ担当生産者20経営体)	平均単収	前年比 +20kg/10a 以上 (-)	田中	対象者への聞き取り
			うるち米等1等級比率	90%以上 (-)		
	※2-(6)-イ-(ア)スマート農業の推進	J A ドローン受託組織				
イ 非主食用米、大豆の生産拡大	(イ)葉月みのりの安定生産	葉月みのり生産者 (63人)	1等級比率	90%以上 (86.9%)	板谷越	J A 調べ
			平均単収 510kg/10a 以上 達成者数	32人以上 (24)		
	(ア)飼料用米の多収栽培	新潟次郎生産者 (127人)	地域基準単収+150kg達成者数	15人 (8)	板谷越	水田活用 交付金から算出  栽培記録カードの集約
		適期中干し実施率	90%以上 (-)			
(イ)大豆の安定生産	大豆生産者 (18人)	収量180kg/10a以上生産者率		60% (43%)	石井	J A 調べ
			3等級以上の比率	40% (25.5%)		
※2-(6)-イ-(ア)スマート農業の推進	J A ドローン受託組織					

(3) 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践

- たまねぎ、えだまめの産地強化に向け、生産技術の改善による単収向上を図りつつ、担い手間の作業受託体制の構築・連携強化により持続的な産地体制整備を進める。
- 少量多品目産地の育成に向け、各重点品目のJA生産部会を中心にした生産技術の向上、農業関係機関と連携した販売力強化活動及び新規栽培者への技術習得支援体制整備を進める。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点対象を示す。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 園芸産地の育成	(7) たまねぎ産地の育成	JAえちご中越柏崎たまねぎ生産部会(30戸)	JA荷受単収3.5ト/10a以上経営体数	5 (4)	児玉	JAへの聞き取り
	※担い手間連携支援(作業受託組織の活動強化支援)	※作業受託担い手経営体(4戸)	作業受託延べ面積	4.0ha (3.1)		
	(イ) えだまめ産地の育成	JAえちご中越柏崎えだまめ生産部会(33戸)	製品収量300kg/10a経営体数	10 (9)	佐藤	JAへの聞き取り
	※担い手間連携支援(作業受託組織の活動強化支援)	※作業受託担い手経営体(3戸)	作業受託面積	20ha以上 (20)		
(ウ) 少量多品目産地の育成	JAえちご中越柏崎カリフラワー生産部会(14戸)、JAえちご中越柏崎越後姫生産部会(4戸)、(株)ファームくじらなみ、JAえちご中越柏崎アスパラガス生産部会(6戸)	重点品目出荷量	102.5t (83.7)	児玉	JAへの聞き取り	
※新規栽培者に対する技術習得体制整備支援(園芸参入塾)	アスパラガス生産者(6戸)	重点品目栽培面積	13.7ha (12.6)			重点品目販売金額

(4) 収益性の高い畜産経営の育成

- 畜産経営の持続的な発展のため、関係機関が一体となり耕畜連携による水田飼料作物の生産利用体制づくりを進め、自給飼料の利用を高め飼料費の抑制を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 自給飼料の活用等によるコスト低減	(7) 水田飼料作物の生産利用体制づくり	WCS用稲を生産する組織 (2)	平均単収	5ロール/10a (一)	石本	栽培者への聞き取り

(5) 経営の多角化

- 農業法人等の収益向上に向け、研修会への参加誘導や外部専門家と連携し、経営力の向上を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 企画・販売力の強化	(7) 農業法人等の収益向上支援	売上や利益の向上を目指す農業法人 (6)	経営計画の目標達成経営体数	6 (2)	児玉	経営体への聞き取り

(6) スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化

- 県産農産物の安全性や信頼性の確保と、農場経営の改善に向けて、GAPの取組みを推進する。また、認証GAP取得意向のある経営体の認証取得を支援する。
- スマート農業の推進のため、ドローンによる水稲及び大豆の防除面積の拡大を支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア GAPの導入実践促進	(7) GAP導入支援	認証GAP取得意向経営体 (3)	認証GAP新規取得経営体数	1 (0)	佐藤	経営体への聞き取り
イ スマート農業の推進	(7) 省力化機械の普及	JAドローン受託組織	防除作業受託面積	50ha以上 (一)	石井	JAに確認

3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮

(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

- 中山間地域の営農や集落機能を維持・発展させるため、地域住民が主体となった話し合いや取組を促進する。
- 地域が主体となって行う地域の将来プラン策定や活動組織づくりを伴走型で支援する。
- 地域が主体となって取り組む将来プランの実践を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 営農継続に向けた地域の体制づくり	(ア)地域の関係者の連携による推進体制づくり	柏崎市 高柳地区	現状分析実施地区数	1 (1)	小林	対象者への聞き取り
	(イ)集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市 別俣地区	将来プランの策定数	1 (1)	児玉	対象者への聞き取り
	(ウ)地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市 南鯖石地区	プラン記載内容のうち実行できた項目数	5 (-)	田中	対象者への聞き取り
	※2-(1)-ア-(イ)法人等担い手の連携体制づくり	※柏崎市 南鯖石地区				
	(ウ)地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市 曾地地区	新規園芸作物の導入	1 (-)	石本	対象者への聞き取り
	※2-(1)-ア-(ア)農地の集約化に向けた担い手間の合意形成支援	※柏崎市中 通地区	地場産農産物の地区提供回数	2 (1)		

### 第3 重点課題

#### 1 全県共通課題

基本課題				リーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
<b>【園芸の販売額1億円産地を育成するための取組の実践 ～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～】</b>				チームリーダー 小瀬普及課長
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(3) 新潟県園芸基本戦略の着実な実践	ア 園芸産地の育成	(ア) たまねぎ産地の育成	J A えちご中越 柏崎たまねぎ生産部会	サブリーダー 児玉専門普及指導員
		(イ) えだまめ産地の育成	J A えちご中越 柏崎えだまめ生産部会	
		(ウ) 少量多品目産地の育成	J A えちご中越 柏崎カリフラワー生産部会	
			J A えちご中越 柏崎越後姫生産部会 (株)ファームくじらなみ	
		J A えちご中越 アスパラガス生産部会		
<b>【中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり】</b>				チームリーダー 小瀬普及課長
3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮				
(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	ア 営農継続にむけた地域の体制づくり	(ア) 地域の関係者の連携による推進体制づくり	柏崎市高柳地区	サブリーダー 小林企画専門員 田中課長代理
		(イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市別俣地区	
		(ウ) 地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市南鯖石地区 柏崎市曾地地区	
<b>【担い手を中心とした安定的な農業構造の確立】</b>				チームリーダー 小瀬普及課長
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	ア 地域計画策定に向けた話し合い・合意形成支援	(ア) 農地の集約化に向けた担い手間の合意形成支援	柏崎市中通地区	サブリーダー 小林企画専門員 石本課長代理
		(イ) 法人等担い手の連携体制づくり	柏崎市南鯖石地区	

令和5年度 重点課題取組計画（地域推進子チーム取組計画）

柏崎地域振興局農業振興部（柏崎農業普及指導センター）

タイトル	圃芸の販売額1億円産地を育成するための取組実践 ～ 柏崎地域の備かる圃芸の実現による産地強化～	関係機関・団体	柏崎地域農業振興協議会 生産振興部会（圃芸）：農業振興部（普及課、農村整備課）、柏崎市、刈羽村、JA えちご中越（柏崎）、柏崎土地改良区、NOSAI 新潟中越支所
基本課題 普及課題 指導事項	2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開 (3) 新潟県圃芸振興基本戦略の着実な実践 ア 圃芸産地の育成	地域推進 チーム体制	JA えちご中越（柏崎）、柏崎土地改良区、NOSAI 新潟中越支所 総括：高橋副部長、チームリーダー：小澤普及課長 チーム員：普及課・児玉専門普及指導員、農林整備課・藤川課長代理、経営普及課・田中指導員、佐藤専門普及指導員、及野・加藤農業革新支援担当
指導内容	(ア) たまねざ産地の育成 (イ) えだまめ産地の育成 (ウ) 少量多品目産地の育成 (エ) かき産地の育成	関連する 事業	圃芸振興基本戦略推進総合対策事業、圃芸産地力強化支援事業、圃芸産地力強化支援事業 「新3K」人づくり事業、水田みどり戦略推進モデル事業

◆現状分析と課題

1 現状分析

- 大規模機械化体系が可能な品目は、稲作経営体を中心に圃芸導入が拡大。基盤整備地区（含む予定地）の栽培が進む。
- 重粘土水田転換地での圃芸生産かつ稲作経営体の圃芸の導入が中心であり低収量。排水改善徹底及び生産技術向上が必要。

【R4年度の品目別現状】

(1) たまねざ

JAによる共同利用機械・調整施設導入により産地の体制の整備は進んでいるが、小面積栽培者もおり機械化のメリットが出にくい状況。収益性が低く栽培面積は減少。乾燥調整後の整品率は88%に向上したが整品収量は2.7/10aと低い。

(2) えだまめ

作業時間が少ないことやJAによる出荷調整設備により生産面積は拡大。出荷調整設備の処理能力が栽培可能面積の拡大阻害要因となる。A品単収255kg/10a、70%以上

(3) 少量多品目：取組重点品目77777、77777、77777、77777、77777、77777、77777

水田の高度利用として導入を推進。カリフラワーは生産者の世代交代時期であり生産・出荷技術の生産者格差が大きい。ブロッコリーは加工業務用栽培を推進。アスパラガスで栽培面積増加。

(4) かき

重点課題の指導対象としての活動は令和4年度末まで

○R4年度の生産実績（単位：ha、t、千円、千円）

産地育成品目	面積	生産者数	販売額	販売額
たまねざ	7.5	30	99.6	9,345
えだまめ	39.2	33	70.4	42,986
少量多品目	17.6	432	—	114,814
(うち重点7品目)	12.6	65	83.7	30,962
かき	8.7	70	33.7	12,110

◆支援対象と目標

支援対象（産地名）及び目標

交授対象 (産地名)	面積(ha)		生産者数(人)		販売額(千円)	
	H30	R5	H30	R5	H30	R5
たまねざ	9.5	9.0	39	30	7,942	17,550
えだまめ	15.9	42.0	10	35	12,120	70,000
少量多品目	15.4	19.3	399	473	101,530	171,160
(うち重点7品目)	10.2	13.7	52	83	18,520	31,160
かき	11.6	12.0	110	70	13,172	13,000

既存の産地育成計画のR5目標

◆対応方針

重粘土の水田転換地中心の栽培であり、かつ、圃芸初心者が多く、低単収により収益性が低い状況である。技術改善による収量向上と関係機関連携による販売単価向上に取組み、備かる圃芸を見せることを重点とする。

【共通推進事項】

- 品目単の現地研修と農業者等との対話を基本とした課題整理と対策の実践
- 産地拡大に向けて、法人やほ場整備地区への圃芸導入・拡大の啓発
- 実証ほ、展示ほ設置・運営による生産技術の向上
- 作業委託組織の活動強化による産地体制整備

【品目別対応事項】

(1) たまねざ

ア モデル経営体育成：荷受け単収3.5t以上経営体育成

イ 排水対策の徹底：耕盤破壊、周囲開渠設置、土壌物理性改善等

ウ 健全生産、適期作業の奨励、病害（べと病）対策

エ 作業委託組織の活動強化支援

オ 販売単価向上に向けた取組：地産消費拡大

(2) えだまめ

ア モデル経営体育成：製品収量300kg/10a以上経営体育成

イ 排水対策の徹底：耕盤破壊、周囲開渠設置、土壌物理性改善等

ウ 作業委託組織の活動強化支援：作業委託面積(20ha以上)

エ 出荷時期分散に向けた作型の拡大

エ 販路確保に向けた食味維持：色彩計による茶豆食味把握及び改善

(3) 少量多品目（取組重点品目：77777、77777、77777、77777、77777、77777、77777）

ア カリフラワー、ブロッコリー

(ア) 単収の向上による販売量確保：排水対策、品質向上

(イ) 面積拡大：えだまめ耕作としての導入推進

イ アスパラガス

(ア) 単収の向上による販売量確保：新規栽培者の技術向上

(4) かき

ア 防除改善による品質・出荷量の増加

イ 集出荷・加工体制の改善による販売量の増加

◆具体的活動内容

1 今年度の活動内容

【チーム活動】

① 農業振興協議会生産振興部会（圃芸）活動と連携してチーム会議を開催

② 産地育成チーム員が技術研修会等の機会を活用して生産者の要望・課題を把握

【品目別活動】

(1) たまねざ

- 収量向上に向けた栽培技術指導・作業委託組織の活動強化支援
- 肥料コスト低減、土壌排水性改善に向けた実証ほ設置
- 地元産認知度向上に向けた取組（地元飲食店等への供給拡大、収穫イベント等）

(2) えだまめ

- 収量向上に向けた栽培技術指導（長岡、上越地域との連携活動含む）
- 早期出荷に向けた実証ほ設置・作業委託組織の活動強化支援
- 食味・品質改善検討会の実施と差別化販売を試行

(3) 少量多品目

- 収量、品質向上に向けた栽培技術指導（排水対策、病害対策等）
- 肥料コスト低減に向けた実証ほ設置（カリフラワー）
- 圃芸参入誘因による収量向上技術習得支援（アスパラガス）
- 新規需要拡大に向けた検討

(4) かき

- 収量、品質向上に向けた栽培技術指導
- 集出荷量の確保に向けた産地構造改善

・R5は一般活動の中で対応

2 次年度以降の活動内容

- 定期チーム会議開催により、県、市村、JAの役割発掘により産地育成を進める。
- えだまめでは、長岡、上越との地域連携を支援し、生産技術の向上や生産者の相互連携の促進を継続的に進める。

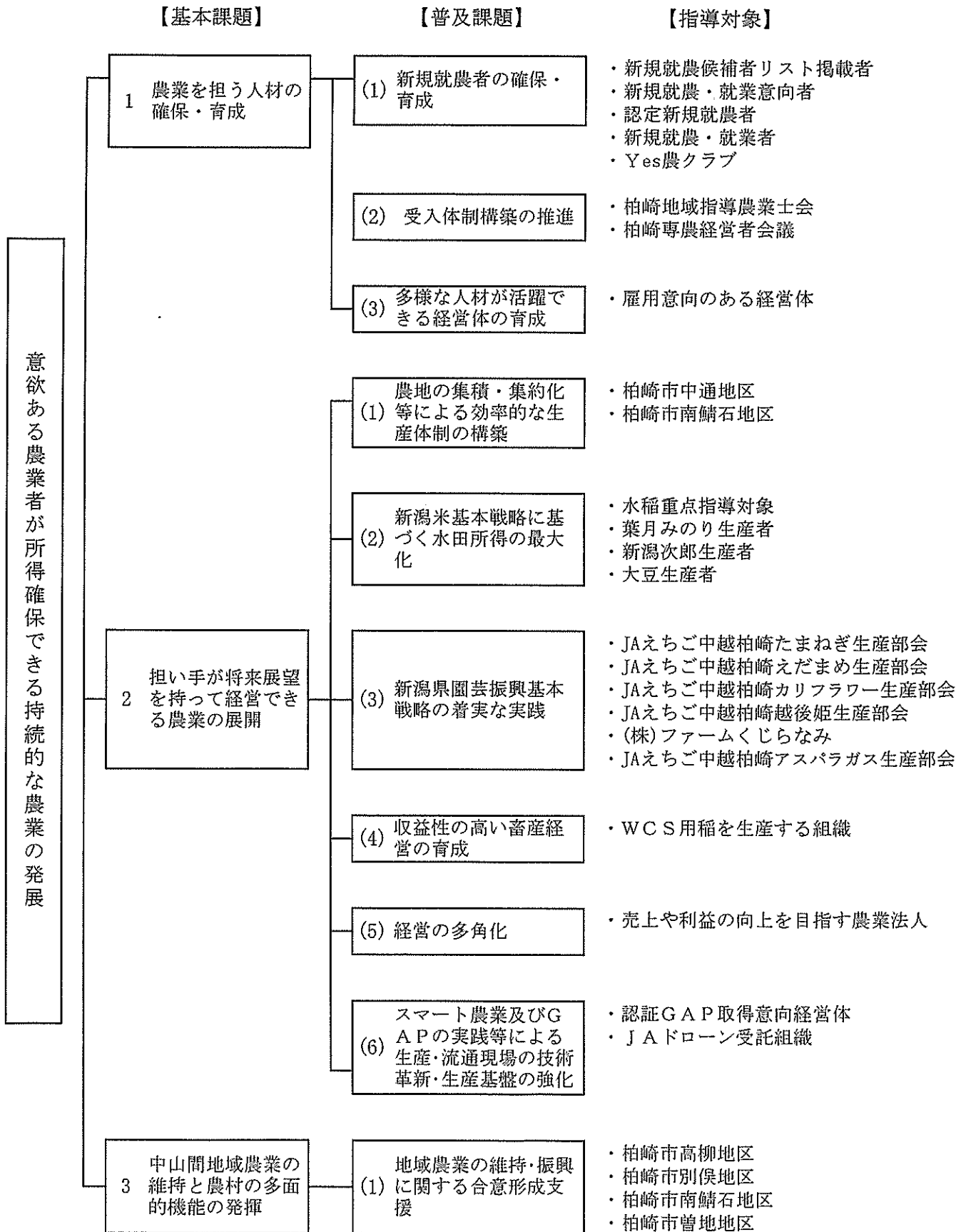
令和5年度 重点課題取組計画

<p>中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり</p>	<p>総括担当者名 高橋副部長</p>	<p>柏崎地域振興局農業振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>	<p>柏崎地域振興局農業振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>
<p>基本課題 3 中山間地域農業の維持と農村の参画的機能の発揮 (1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援 ア 営農継続に向けた地域体制づくり</p>	<p>推進体制 (課名) リーダー 小湯普及課長 チーム員 小林企画専門員、石本親長代理、田中課長代理、児玉専門普及指導員、石井専門普及指導員、佐藤専門普及指導員、坂谷越主普及指導員、竹内技師</p>	<p>推進体制 (担当者名) 小湯普及課長 小林企画専門員、石本親長代理、田中課長代理、児玉専門普及指導員、石井専門普及指導員、佐藤専門普及指導員、坂谷越主普及指導員、竹内技師</p>	<p>推進体制 (担当者名) 小湯普及課長 小林企画専門員、石本親長代理、田中課長代理、児玉専門普及指導員、石井専門普及指導員、佐藤専門普及指導員、坂谷越主普及指導員、竹内技師</p>
<p>指導内容 (ア) 地域関係者の連携による推進体制づくり (イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援 (ウ) 地域が取り組み将来プランの実践支援</p>	<p>関連する事業 農村集落サポート人材研修事業、農村集落の将来プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>	<p>関連する事業 農村集落サポート人材研修事業、農村集落の将来プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>	<p>関連する事業 農村集落サポート人材研修事業、農村集落の将来プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>
<p>◆現状分析と課題 1 現状分析 (1) 柏崎市高柳地区 ・関係する集落数 20、世帯数 592戸、人口 1,105人、耕地面積 169ha ・中山間直払制度は1協定(174ha)に広域化されている。 ・高柳農業振興会の研修生受け入れや農業者による新規就農者育成の動き有り ・高柳小学校の廃校決定など、少子・高齢化が深刻化し、地域に人口減の危機感有り (2) 柏崎市別呉地区 ・関係する集落数 3、世帯数 136戸、耕地面積 182ha ・中山間直払制度は1協定(116ha)に広域化されている。 ・令和4年度は稼げたワークショプ等により、施設園芸の導入や、生活環境整備、ワーケーション誘致等からなる「(株)別呉未来構想」の具体化を進めることで ・地元関係園芸を活用したワークショプ等により、施設園芸の導入や、生活環境整備、ワーケーション誘致等からなる「(株)別呉未来構想」の具体化を進めることで (3) 柏崎市南鱒石地区 ・関係する集落数 9、世帯数 445戸、耕地面積 227ha ・中山間直払制度は、7協定のうち令和4年度は4集落で統合し広域協定を設立 ・部門ごとのワークショプの開催で、農協連携協議会(高齢者等が園芸生産等に取組み体制づくり)の設立や、高齢者の生活支援、移住・定住を見据えた情報発信等を目指す将来プランを策定 (4) 柏崎市曾根地区 ・関係する集落数 3、世帯数 155戸、耕地面積 98ha ・中山間直払制度は1協定に広域化、加算措置を活用し新たに高齢者の見守り活動を開始 ・令和4年度は、プラン実践に向けた試行的取り組みとして、秋獲り馬鈴薯の試作やそば打ち交流等に取組、併せて(農)曾根生産組合の生産体制強化に取組</p>	<p>2 目標 1 指導対象 (1) 地区の現状分析 柏崎市高柳地区 (2) 将来プランの策定 柏崎市別呉地区 (3) 将来プランの実践 柏崎市曾根地区・南鱒石地区 ※将来プランの実践地区に係る今年度の具体的な目標項目・目標値については「第2課題別方針と指導計画」に記載</p>	<p>◆支援助成と目標 1 指導対象 (1) 地区の現状分析 柏崎市高柳地区 (2) 将来プランの策定 柏崎市別呉地区 (3) 将来プランの実践 柏崎市曾根地区・南鱒石地区 ※将来プランの実践地区に係る今年度の具体的な目標項目・目標値については「第2課題別方針と指導計画」に記載</p>	<p>◆現状分析と課題 1 現状分析 (1) 柏崎市高柳地区 ・関係する集落数 20、世帯数 592戸、人口 1,105人、耕地面積 169ha ・中山間直払制度は1協定(174ha)に広域化されている。 ・高柳農業振興会の研修生受け入れや農業者による新規就農者育成の動き有り ・高柳小学校の廃校決定など、少子・高齢化が深刻化し、地域に人口減の危機感有り (2) 柏崎市別呉地区 ・関係する集落数 3、世帯数 136戸、耕地面積 182ha ・中山間直払制度は1協定(116ha)に広域化されている。 ・令和4年度は稼げたワークショプ等により、施設園芸の導入や、生活環境整備、ワーケーション誘致等からなる「(株)別呉未来構想」の具体化を進めることで ・地元関係園芸を活用したワークショプ等により、施設園芸の導入や、生活環境整備、ワーケーション誘致等からなる「(株)別呉未来構想」の具体化を進めることで (3) 柏崎市南鱒石地区 ・関係する集落数 9、世帯数 445戸、耕地面積 227ha ・中山間直払制度は、7協定のうち令和4年度は4集落で統合し広域協定を設立 ・部門ごとのワークショプの開催で、農協連携協議会(高齢者等が園芸生産等に取組み体制づくり)の設立や、高齢者の生活支援、移住・定住を見据えた情報発信等を目指す将来プランを策定 (4) 柏崎市曾根地区 ・関係する集落数 3、世帯数 155戸、耕地面積 98ha ・中山間直払制度は1協定に広域化、加算措置を活用し新たに高齢者の見守り活動を開始 ・令和4年度は、プラン実践に向けた試行的取り組みとして、秋獲り馬鈴薯の試作やそば打ち交流等に取組、併せて(農)曾根生産組合の生産体制強化に取組</p>
<p>2 課題 (1) 柏崎市高柳地区 ・継続的な生産体制の構築、新規就農者の定着 ・集落機能および社会的インフラの維持 (2) 柏崎市別呉地区 ・(株)別呉未来構想の具体化と実施体制の構築 ・移住・定住促進や集落機能強化に向けた検討への女性及び若者の参画促進 (3) 柏崎市南鱒石地区 ・農協連携協議会の取組主体となる法人の設立と地区住民への理解促進 ・移住・定住促進を見据えた情報発信体制の構築 (4) 柏崎市曾根地区 ・次年度以降、自立して活動を継続するための体制構築 ・(農)曾根生産組合の経営基盤強化</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市高柳地区 ・人口及び農業従事者数のシミュレーションや地元関係園芸のワークショプによる現状分析 ・住民を参集した説明会を開催し現状分析結果を提示 (2) 柏崎市別呉地区 ・先進地視察研修や若者・女性等を参集したワークショプの実施支援 ・地域計画策定における協議の場を活用した別呉未来構想の具体化に向けた検討支援 (3) 柏崎市南鱒石地区 ・農協連携協議会の設立検討の場や地域計画策定に向けた協議の場を活用した法人設立への理解促進支援 ・地域の交流イベント、高齢者の情報交換会、移住・定住促進を見据えた情報発信等のプラン実践支援 (4) 柏崎市曾根地区 ・地域計画の目標地図案づくりを通じた法人への農地集約の推進支援 ・法人を中心とした新たな園芸作物の導入検討の継続 ・女性の世代間交流につながるイベントの企画支援 2 次年度以降の活動内容 (1) 柏崎市高柳地区 ・具体的な将来プランの作成支援 (2) 柏崎市別呉地区、柏崎市南鱒石地区、柏崎市曾根地区 ・将来プランの実践支援</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市高柳地区 ・人口及び農業従事者数のシミュレーションや地元関係園芸のワークショプによる現状分析 ・住民を参集した説明会を開催し現状分析結果を提示 (2) 柏崎市別呉地区 ・先進地視察研修や若者・女性等を参集したワークショプの実施支援 ・地域計画策定における協議の場を活用した別呉未来構想の具体化に向けた検討支援 (3) 柏崎市南鱒石地区 ・農協連携協議会の設立検討の場や地域計画策定に向けた協議の場を活用した法人設立への理解促進支援 ・地域の交流イベント、高齢者の情報交換会、移住・定住促進を見据えた情報発信等のプラン実践支援 (4) 柏崎市曾根地区 ・地域計画の目標地図案づくりを通じた法人への農地集約の推進支援 ・法人を中心とした新たな園芸作物の導入検討の継続 ・女性の世代間交流につながるイベントの企画支援 2 次年度以降の活動内容 (1) 柏崎市高柳地区 ・具体的な将来プランの作成支援 (2) 柏崎市別呉地区、柏崎市南鱒石地区、柏崎市曾根地区 ・将来プランの実践支援</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市高柳地区 ・高柳農業振興会を当面の検討母体とし、現状分析及び分析結果等の住民への周知を支援 ・柏崎市別呉地区 (1) 推進チーム：別呉未来推進部、農家組合、関係機関 (2) 方針 ・施設園芸導入やワーケーション誘致等の(株)別呉未来構想の具体化を支援 ・別呉未来構想の住民への理解促進支援(地域計画策定と併せた取組) 柏崎市南鱒石地区 (1) 推進チーム：コミセン専門部会、農家組合、関係機関 (2) 方針 ・農協連携協議会の中心となる法人((農)宮之下生産組合及び個別担い手農家が核となる法人)の設立に向けた検討と住民への理解促進支援 ・移住・定住促進を見据えた情報発信体制の検討支援 柏崎市曾根地区 (1) 推進チーム：菊尾・曾根・成沢集落協定、町内会、(農)曾根生産組合 (2) 方針 ・地域計画の策定を通じた地区の農業の在り方の検討と法人への農地集積・集約化の推進 ・集落協定と法人を中心に農業及び集落機能を維持できる体制づくり ・地場産農産物の活用を通じた女性の活躍の場づくり</p>

令和5年度 重点課題取組計画

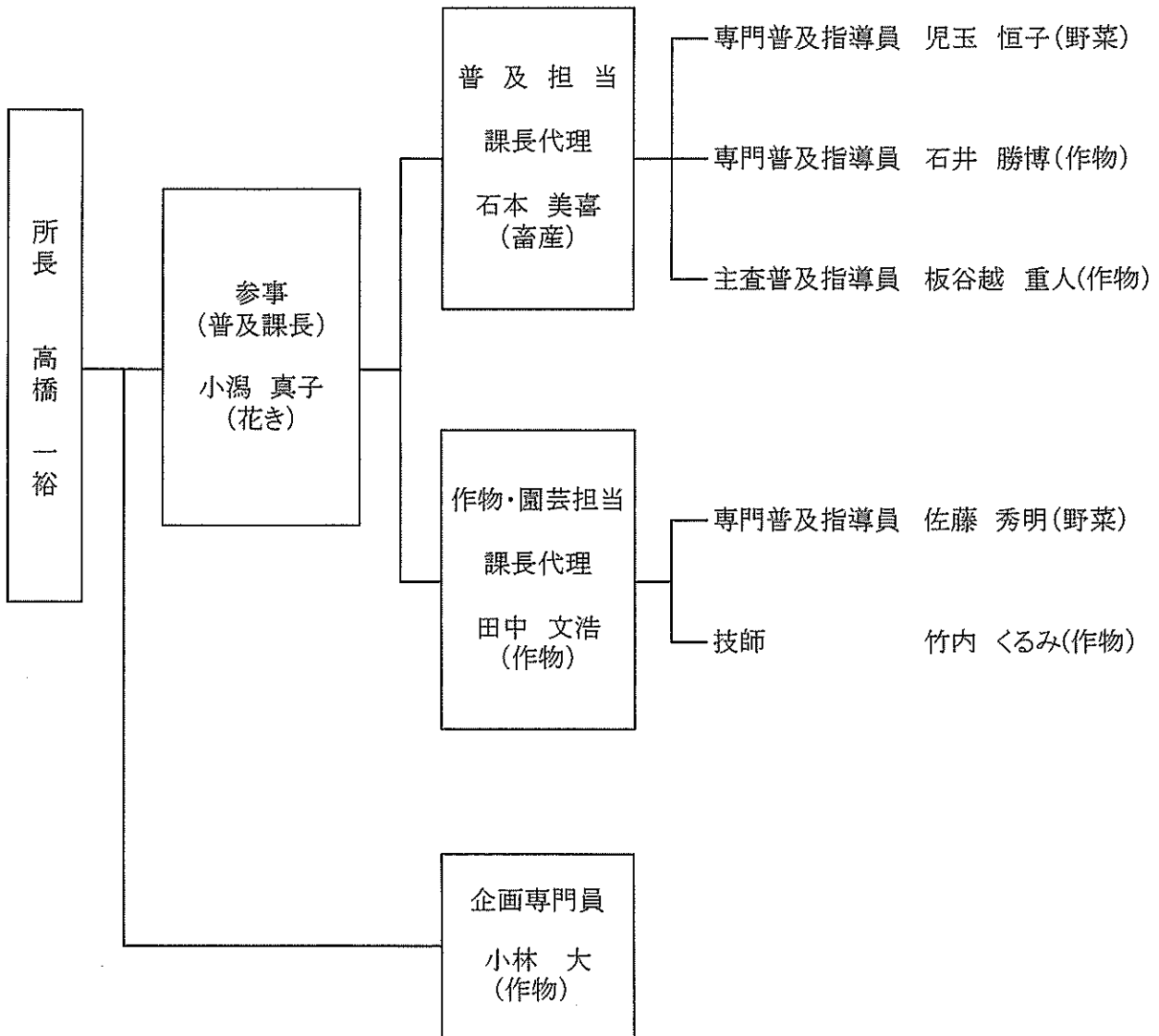
<p>タイトル</p> <p>担い手を中心とした安定的な農業構造の確立</p>	<p>秘括担当者名</p> <p>高橋副部長</p>	<p>柏崎地域振興局農業振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>												
<p>基本課題</p> <p>担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開</p>	<p>推進体制</p> <p>リーダー 小高普及課長 サブリーダー 石本課長代理、田中課長代理、小林企画専門員 チーム名 石井専門普及指導員、板谷越主査普及指導員</p>	<p>国・地域計画策定推進緊急対策事業、有機連携推進事業、農業経営基盤強化促進対策推進事業、ビレッジプラン実践事業</p> <p>国の施策 4項目 □スマート農業 □輸出促進 □環境負荷軽減 ■高収益作物</p>												
<p>指導事項</p> <p>(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築 ア 地域計画策定に向けた話し合い、合意形成支援</p>	<p>関連する事業</p> <p>地域計画策定推進緊急対策事業、有機連携推進事業、農業経営基盤強化促進対策推進事業、ビレッジプラン実践事業</p>	<p>2 目標</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>基準年 (令和3年)</th> <th>現状 (令和4年)</th> <th>目標 (令和5年)</th> </tr> <tr> <td>(1) 地域計画策定件数</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(2) 法人間連携計画の策定数</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	目標項目	基準年 (令和3年)	現状 (令和4年)	目標 (令和5年)	(1) 地域計画策定件数	—	0	1	(2) 法人間連携計画の策定数	—	0	1
目標項目	基準年 (令和3年)	現状 (令和4年)	目標 (令和5年)											
(1) 地域計画策定件数	—	0	1											
(2) 法人間連携計画の策定数	—	0	1											
<p>指導内容</p> <p>(ア) 農地の集約化に向けた担い手間の合意形成支援 (イ) 法人等担い手の連携体制づくり</p>	<p>◆支援対象と目標</p> <p>1 指導対象 (1) 農地集約化重点地区 柏崎市中通地区 (2) 法人間連携推進地区 柏崎市南鯖石地区</p>	<p>◆現状分析と課題</p> <p>1 現状分析 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・ 柏崎市内では地域計画を10地区に分けて策定する計画で、中通地区は、北部西中通地区に属し2地区(10集帯)331.1haを話し合いの単位とする。 ①曾地、曾地新田、花田、飯塚、小黒須、五十土、成沢 155.7ha ②矢田、飯寺、吉井 175.4ha ・ 人・農地プランでの中心的経営体は25戸(曾地8、曾地新田3、花田2、矢田5、飯寺1、吉井6)で、経営面積合計は167.8ha、地区農地集積率は50.7%。 ・ 矢田地区は現場整備事業を実施中で、換地が進められる。 ・ 曾地、菊尾、成沢地区で中山間地域等直接支払集積協定広域協定に取り組んでいる。 ・ R4に地区農業委員と関係機関で構成する「中通地区農地集積実行委員会」が発足し、農業委員が積極的推進。 ・ R4に耕作者の農地の賃借状況や機械の所有状況を調査し、中心的経営体が減少する可能性が高いことがわかった。 ・ R4に耕作者現況地図を作成し、入作農家が多いことや集約化の進んでいないエリアが多くあることがわかった。 (2) 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・ 柏崎市内では地域計画を10地区に分けて策定する計画で、南鯖石地区は9集帯227haを範囲とする。 ・ 人・農地プランで予想される5年後中心的経営体は8戸(法人3、個人5)であるが集積型法人では高齢化が進み体制の見直しが必要。 ・ R3に高齢化が進み後継者不在の集積型法人1経営体と地区の担い手農家で、法人設立に向けた機運が醸成された。 ・ R4にビレッジプラン重点地区として将来プランを策定し、この中で法人や担い手農家を核にした新たな法人(地域運営会社)設立が目標に設定された。</p> <p>2 課題 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・ 条件不利地ま場の改善(ほ場整備事業の取組志向あり) ・ 入作農家の検討委員会への参加促進。 ・ 遊休農地の解消(非農地通知の発出) (2) 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・ 地区での新たな法人設立に向けた理解促進と法人への参加の意識づけ ・ 法人の事業計画具体化支援</p>												
<p>◆対策方針</p> <p>1 所内体制と関係機関連携 ・ 対象地区をビレッジプラン重点地区3年目、4年目地区で策定された将来プランの実施支援と絡めて活動する。 ・ 指導対象は、柏崎市の地域計画策定にあたり、先行的に地域計画に取り組み重点地区として位置づけて支援する。</p> <p>2 農地集約化(柏崎市中通地区) ・ 地区全体での農地のあり方や高収益作物の導入等の地区の将来像を中通地区農地集積実行委員会が中心となって協議の場での検討を進める。 ・ 担い手農家等による話し合いを通じて、地域の目標地区案の作成を支援する。 ・ 目標地区の策定を通じて集約化を促進する。 ・ 機耕集積協力金(集約化奨励金)の活用促進と併せて、農地集約化を推進する。</p> <p>3 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・ 地域計画策定に係る話し合いを通じて、法人設立と法人への参加等の理解促進を図る。 ・ ビレッジプランの取組実践として、農業検討チームでの法人の設立に向けた事業計画具体化を支援する。</p>	<p>◆具体的活動内容</p> <p>1 今年度の活動内容 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・ 中通地区農地集積実行委員会会議の開催 ・ 担い手間の地域別検討支援 ・ 意向調査の実施支援 ・ 目標地区の作成支援 (2) 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・ 地域計画における協議の場での将来像検討支援 ・ 目標地区の策定支援 ・ ビレッジプラン農業検討チームの開催支援 ・ 経営試算等に基づく法人の事業計画具体化支援</p> <p>2 次年度以降の活動内容 (1) 農地集約化 法人や担い手農家が地区農地大部分を担い、効率的な生産体制が構築されるよう支援する。 ・ 地域計画の作成に向けた話し合いの継続支援 ・ 他地区への活動波及 (2) 法人間連携 設立法人が、地区全体の農地の受皿的な調整機能を持つ組織となるよう、ビレッジプランの取組の中で支援する。 ・ 地域計画の作成に向けた話し合いの継続支援 ・ 法人設立支援</p>	<p>◆対策方針</p> <p>1 所内体制と関係機関連携 ・ 対象地区をビレッジプラン重点地区3年目、4年目地区で策定された将来プランの実施支援と絡めて活動する。 ・ 指導対象は、柏崎市の地域計画策定にあたり、先行的に地域計画に取り組み重点地区として位置づけて支援する。</p> <p>2 農地集約化(柏崎市中通地区) ・ 地区全体での農地のあり方や高収益作物の導入等の地区の将来像を中通地区農地集積実行委員会が中心となって協議の場での検討を進める。 ・ 担い手農家等による話し合いを通じて、地域の目標地区案の作成を支援する。 ・ 目標地区の策定を通じて集約化を促進する。 ・ 機耕集積協力金(集約化奨励金)の活用促進と併せて、農地集約化を推進する。</p> <p>3 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・ 地域計画策定に係る話し合いを通じて、法人設立と法人への参加等の理解促進を図る。 ・ ビレッジプランの取組実践として、農業検討チームでの法人の設立に向けた事業計画具体化を支援する。</p>												

## 第4 課題体系及び指導対象



## 第5 活動体制及び業務分担表

### 1 組織及び活動体制



## 2 業務分担表

	担 当 事 務	主 任	副 任
普及課	1 普及指導活動の企画調整及び実施に関する事項		
	① 普及指導計画の樹立、進行管理及び活動の評価 ② 普及関係事業の企画・調整及び実施 ③ 地域農業振興協議会の部会運営等に関する事項 ④ 診断室、実験室、作業室等の管理運営 ⑤ 調査研究の企画、運営 ⑥ 試験研究機関と連携した活動の企画、運営 ⑦ 農林・農地の連携に関する事項 ⑧ 職員研修・人材育成に関する事項	石本課長代理 石本課長代理 小瀧課長 小瀧課長 石本課長代理 佐藤専門普及指導員 田中課長代理 石本課長代理	田中課長代理 田中課長代理 小林企画専門員 石井専門普及指導員 田中課長代理 板谷越主査普及指導員 佐藤専門普及指導員 小瀧課長
	2 地域農業振興及び農業経営改善の企画に関する事項		
	(地域農業振興に関する事項)		
	① 農業構造の改善に関する普及企画・推進 ② 中山間地域の活性化に関する普及企画・推進	石本課長代理 田中課長代理	田中課長代理 石本課長代理
	(新規就農者等の確保・育成に関する事項)		
	③ 新規就農者等の確保・育成に関する普及企画・推進 ④ 地域農業リーダー育成の普及企画・推進 ⑤ 女性農業者の社会参画、起業化に関する普及企画・推進 ⑥ 関係機関・団体との新規就農者等の確保・育成に関する連携・調整	石井専門普及指導員 石本課長代理 小瀧課長 石井専門普及指導員	板谷越主査普及指導員 石井専門普及指導員 石井専門普及指導員 石本課長代理
	(経営体の育成に関する事項)		
	⑦ 経営体の育成に関する普及企画・推進 ⑧ 農業経営相談・経営改善に関する普及企画・推進 ⑨ 農福連携・多様な人材確保に関する企画・推進 ⑩ 外部専門家との連携及び調整	児玉専門普及指導員 児玉専門普及指導員 小瀧課長 児玉専門普及指導員	石本課長代理 石本課長代理 児玉専門普及指導員 石本課長代理
	3 普及情報に関する事項		
	① 農業普及情報提供活動の企画・推進 ② 普及情報機材の管理運営 ③ 農業普及情報システム活用に関する企画・推進 ④ 各種表彰事業に関する調整 ⑤ 県民への情報提供	板谷越主査普及指導員 板谷越主査普及指導員 板谷越主査普及指導員 石本課長代理 板谷越主査普及指導員	竹内技師 佐藤専門普及指導員 竹内技師 田中課長代理 竹内技師
	4 農業経営及び農業技術の指導に関する事項		
	① 専門項目の総括と活動調整 ② 作物の技術、経営に関する指導 ③ 野菜の技術、経営に関する指導 ④ 果樹の技術、経営に関する指導 ⑤ 花きの技術、経営に関する指導 ⑥ 畜産の技術、経営に関する指導 ⑦ 養蚕及び茶の技術、経営に関する指導 ⑧ 6次産業化(加工)の技術、経営に関する指導 ⑨ 農業の適正使用・管理に関する指導 ⑩ 農業生産工程管理(GAP)の普及推進に関する指導 ⑪ 農業災害に関する指導(農業災害時における農業普及指導センターの普及活動実施要領で規定する指導等) ⑫ 病害虫防除に関する指導 ⑬ 土壌診断及び施肥改善に関する指導 ⑭ 展示ほ・実証ほに関する指導 ⑮ スマート農業・農業DXに関する指導 ⑯ 鳥獣被害防止対策に関する指導	小瀧課長 田中課長代理 佐藤専門普及指導員 小瀧課長 小瀧課長 石本課長代理 小瀧課長 田中課長代理 佐藤専門普及指導員 小瀧課長 板谷越主査普及指導員 佐藤専門普及指導員 佐藤専門普及指導員 石井専門普及指導員 田中課長代理	田中課長代理 板谷越主査普及指導員 児玉専門普及指導員 佐藤専門普及指導員 児玉専門普及指導員 田中課長代理 児玉専門普及指導員 佐藤専門普及指導員 板谷越主査普及指導員 田中課長代理 佐藤専門普及指導員 石井専門普及指導員 板谷越主査普及指導員 児玉専門普及指導員 佐藤専門普及指導員
	5 農業の担い手及び経営体育成の指導に関する事項		
	① 農業人材の確保・育成指導 ② 経営体の育成指導 ③ 組織化・法人化等の育成指導 ④ 農福連携・多様な人材確保に関する指導 ⑤ 若手農業者グループの活動支援	石井専門普及指導員 児玉専門普及指導員 児玉専門普及指導員 小瀧課長 佐藤専門普及指導員	板谷越主査普及指導員 石本課長代理 石本課長代理 児玉専門普及指導員 竹内技師
	6 農業労働及び農村生活環境の向上の指導に関する事項		
	① 地域農政の総合推進に関する事項		
	① 地域振興計画、農業振興計画等の企画・推進 ② 農業振興協議会の企画・事務総括 ③ 農林県単事業及び国補事業に係る企画・調整	小林企画専門員 小林企画専門員 小林企画専門員	— — —
	2 農業構造の改善に関する事項		
	① 地域農業構造の改善に係る企画・推進 ② ほ場整備等推進プロジェクトチーム活動等の運営・推進	小林企画専門員 小林企画専門員	— —
3 農山村地域等の振興に関する事項			
① 中山間地域等振興の企画・推進	小林企画専門員	—	

## 第6 普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表

課題名	実施者
肥効性調節型肥料の元肥施用による大豆の品質収量向上	石井
こしいぶきの収量品質向上に向けた体系技術の現地実証	田中、板谷越
側条施肥播種機を用いたカリフラワー一発肥料減肥栽培実証	児玉、佐藤、小瀧
鶏ふんを利用したWCS用稲の現地実証	石本、小林、高橋

## 第7 新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表

課題名	実施者
新潟次郎の多収穫生産実証	竹内

## 第8 普及指導活動として実施する実証ほ及び普及に関わる主要実証ほ一覧表

### 1 普及指導センターが普及指導計画に位置付け、実施する実証ほ等

事業名	期間	対象	担当者	内容
特殊気象感応体制整備強化事業調査ほ（水稻気応ほ）	R5. 4. 01 ～10. 30	柏崎市春日	田中	水稻定期報告（コシヒカリ BL）
	R5. 4. 01 ～10. 30		田中	水稻定期報告（新之助）
地域課題解決実証ほ	R5. 4. 01 ～10. 30	柏崎市中田	田中	品質・修了向上実証（こしいぶき）
みどりの自給飼料生産推進事業実証ほ	R5. 4. 01 ～11. 30	柏崎市東条	石本	WCS用稲（こしいぶき）
園芸作物技術情報システム調査ほ	R5. 5. 01 ～10. 31	柏崎市矢田	佐藤	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R5. 10. 01 ～R6. 7. 31	柏崎市畔屋	児玉	たまねぎ

### 2 普及指導センターが関わり支援する実証ほ等

実証ほ名	期間	実施者	担当者	内容
普及展示ほ	R5. 4. 01 ～10. 30	(社)新潟県農林公社	田中	展示資材(ミツけい酸エース)
農薬実証ほ	R5. 4. 01 ～10. 30	(社)新潟県植物防疫協会	板谷越	後期除草剤(ツイケキ豆つぶ250)
農薬実証ほ	R5. 4. 01 ～10. 30	(社)新潟県植物防疫協会	板谷越	後期除草剤(ワイトコア 200SP 粒剤)